



訪問看護を伝える相手は、地域の方だけではなくありません。同じ職場で働く仲間、併設施設の職員、他職種の方、そして利用者さんやご家族へ。

No.13では、手ぬぐいを見て、使って、身につけることで、それぞれの間に新しい会話が生まれ、訪問看護への関心が広がっていく様子をご紹介します。子どもたちの笑顔から日々の体操、職場内の交流まで、今回も手ぬぐいが思いがけない力を発揮しています！

01 大谷 まどか 様（滋賀県）



あたちのお気に入り！

日々の訪問先。

小児の訪問看護にて、機嫌が悪かった時に手ぬぐいをそっとはちまきにして結んだら、機嫌が一気に良くなりました。手ぬぐい効果大！

02 LC訪問看護リハビリステーション 様（栃木県）



車のダッシュボードで巡回PR

基本的には職員の首に巻いてケア・リハ支援をする、訪問バッグにつける、車のダッシュボードに置くなどしました。

このように訪問看護をPRする機会をいただけてありがたかったです。まずは自社職員にPRできただけでも良かったかなと思います。

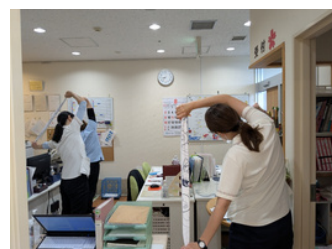
03 社会福祉法人晴山会 訪問看護ステーション飛鳥晴山苑 様（東京都）



ステーションに届き、まずスタッフからは「かわいい手ぬぐい！！」の声でした。日々のストレッチ体操で使おう！保冷剤を首に巻くのに使おうなどのアイデアももらいました。

11月には地域交流会があるので手ぬぐいを首に頭に巻いて盛り上げたいです！

訪問看護の素晴らしさを今後もPRしていきたいと思えます。今回はこのような素敵な手ぬぐいを準備して頂きありがとうございました。



朝のストレッチ体操

04 訪問看護ステーション サンセール武蔵野 様（東京都）



風薫る



季節と共に、今日も走る！

併設の老健内の訪問看護ステーション入口の壁に、NHK連続テレビ小説「風、薫る」のタイトルと共に、手ぬぐいを貼りました。老健のスタッフから「手ぬぐいって色々と便利に使えますね」「この手ぬぐいいいですね。欲しいなあ」と、多くの職員が足を止めて下さいました。また、老健入所者の方も手ぬぐいを眺め、昔の思い出話のきっかけになるなどの光景もみられました。「手ぬぐい」は普段、あまり会話の機会がない訪問看護スタッフと老健スタッフを繋いでくれ、「老健⇄在宅」のPRにもなったと感じています。

思っていたより、手ぬぐいの絵の内容が良かったです。手ぬぐいを見直すきっかけとなり、スタッフ間でも話題になり早速活用しました。

05 株式会社 STORY 様（東京都）



元気いっぱい！てぬぐい体操

埼玉県の実業所では小児専門の訪問看護事業所のため、子どもが体操を実施する際に活用した。

目黒では在宅マッサージの方へ訪問看護の啓発のために施術中に使用してもらった

小さなお子さんの笑顔を引き出し、懐かしい思い出を呼び起こし、普段は会話の機会が少ない職員同士をつなぐ。今回のご報告からは、手ぬぐいが情報を伝えるだけでなく、人と人が言葉を交わす“きっかけ”になっていることが伝わってきました。

まずは身近な職員が訪問看護に目を向け、その魅力や役割を知ること。そして、他部門や他職種、地域の方へと関心が広がっていくこと。こうした日々の小さな交流の積み重ねが、訪問看護をより身近な存在にしていけるのだと感じます。これから予定されている地域交流会などでの活用も楽しみです！

皆さまの工夫に心より感謝するとともに、引き続き活動のご報告をお待ちしています！



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

